

学校評価／自己評価

当校では、年度目標や取り組み等の達成状況を評価し、その結果をもとに学校運営の改善を図るとともに、教育水準の向上を図ること等を目的として、各年度末に教職員による学校評価（自己評価）を行っています。

I 自己評価

(1) 評価内容と項目

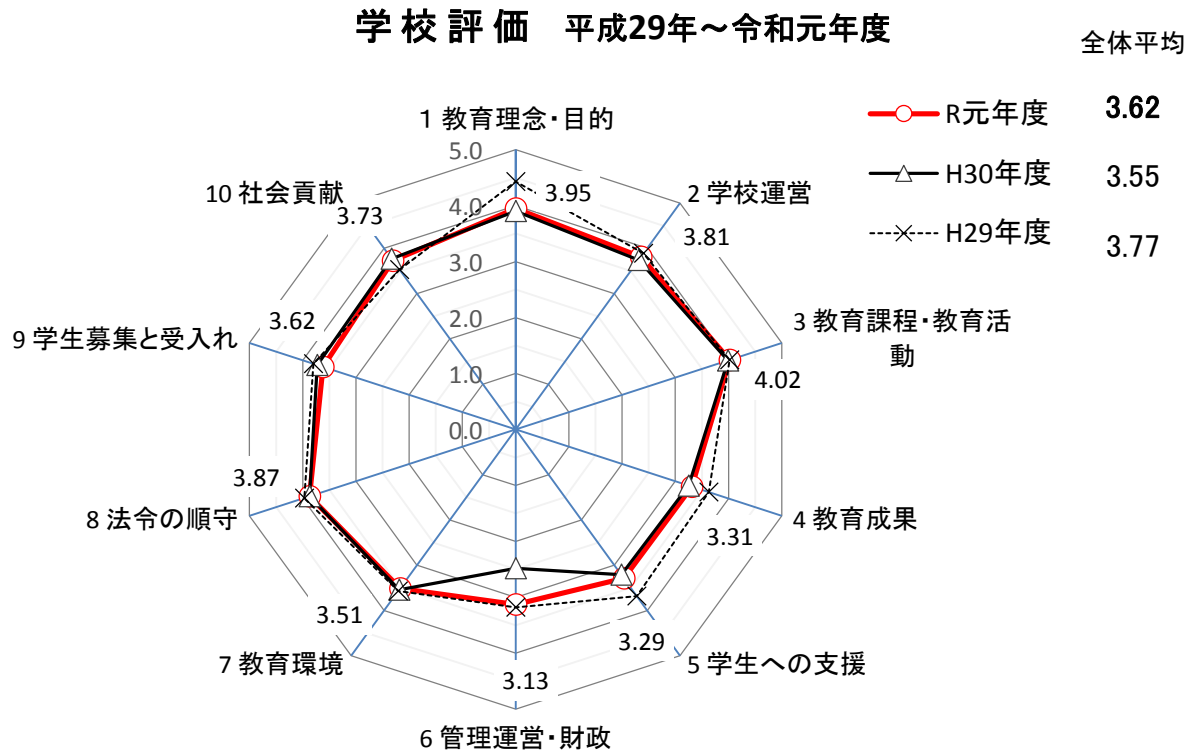
評価項目	細目内容
1. 教育理念・目的 (3項目)	①年度目標の策定 ②教育理念・目的・育成人材像 ③学校独自の特徴
2. 学校運営 (7項目)	①学校運営方針 ②年間の事業計画 ③運営組織や意思決定機能 ④人事や賃金での処遇に関する制度 ⑤業務の効率化 ⑥教育会議の機能 ⑦意思決定システム
3. 教育課程・教育活動 (10項目)	①カリキュラムの編成 ②実習目標に沿った病棟の選択 ③修了認定のための評価基準 ④実習における患者への倫理的配慮 ⑤インシデント・アクシデントの分析 ⑥実習指導者と教員の役割と協力 ⑦学生による授業評価 ⑧成績評価・単位認定基準実 ⑨資格取得の指導体制 ⑩職場内研修
4. 教育成果 (4項目)	①就職率の向上 ②資格修得率の向上 ③退学率の低減 ④卒業生・在校生の活躍及び評価
5. 学生への支援 (5項目)	①学生の心身面での健康管理 ②学生生活、進学、就職に関する相談 ③課外活動に対する支援体制 ④保護者との連携 ⑤学生の経済的側面に対する支援
6. 管理運営・財政 (4項目)	①予算計画、年間事業計画 ②災害など非常時の危機管理体制 ③中長期的な学校の財務基盤の安定 ④財務の会計監査の実施
7. 教育環境 (3項目)	①校舎の耐震性・バリアフリーの整備 ②施設・設備・教材などの整備と活用 ③学生のためのスペース
8. 法令の順守 (3項目)	①法令、設置基準等の遵守 ②個人情報の保護 ③自己点検・自己評価の実施と問題点の改善
9. 学生募集と受入れ (4項目)	①学生募集の適正化 ②学校評価の公表 ③入学選考基準の公平化 ④学納金の妥当性
10. 社会貢献 (4項目)	①地域社会への貢献 ②地域との協力関係 ③学生のボランティア活動 ④社会貢献の実施

(2) 評価尺度（5段階ポイント）

5；良い， 4；やや良い， 3；普通， 2；やや不十分， 1；不十分

(3) 令和元年度 評価結果 (平成29年、30年との比較)

前述10項目47細目について評価を行い、結果を集計後、各項目の平均ポイント値として整理した



IV 今後の課題

今年度は、新入生(11期生)として定員の40名を迎え、学生数を105名まで挽回し、一方教務主任、実習調整担当が新任となり、新たな教務体制でスタートした。

自己評価ポイントの全体平均値は、3.62ポイントで前年の3.55から0.07ポイントと僅かであるが上昇した。細目での最高ポイントは4.5で「教育課程・教育活動」の「実習における患者への論理的配慮」項目であった。これは、実習における患者や利用者様でのプライバシーへの配慮や看護行為を行う前の説明が徹底されてきたためと考える。

一方、最低評価は2.6ポイントで、「管理運営」の「中長期的に学校の財務基盤は安定しているか」と「社会貢献」の「学生ボランティア活動の奨励・支援」の2項目であった。

- ・財務基盤については、定員割れによる収益悪化が不安要因として現れていると思われる。

「学生募集と受入れ」にも関連し、学生募集については、ここ数年重点課題として取り組んできたにもかかわらず、次年度新入生は定員割れとなった。従来の活動に加え、新たな取り組みを検討し、また教育の質の向上に努め、定員確保へ努力していく。

- ・社会貢献については、当校の学生の多くが勤労学生のため、ボランティア活動への参画を積極的に奨励していないこともあり、今後も難しい課題と考える。しかし、地域交流や職場でのボランティア活動の機会もあるようなので、これからは働きかけを強めていきたい。

教育成果として、看護師国試試験では100%合格を達成することはできなかったが、補講やチューター制による指導の継続に加え、新たな対策を模索しながら成果を出していく。

この他学校運営に関して、教職員・学生、学校関係者等と情報や意識を共有し、行動できる体制づくりに努め、より良い・質の高い・明るい校風の学校づくりをすすめる。